

新 グローバルゲートウェイ機能強化事業 8,476 千円

海外自治体・企業と国際的なビジネスの接点創出のため、環境技術を始めとする滋賀の強みを活かし、駐日外交団等を対象とした県内企業視察や国際会議等での技術紹介を行う

商工観光労働部 商工政策課 (内線 3714)

事業内容

■グローバルゲートウェイ機能強化事業

滋賀県の主要産業分野における先進技術や魅力を直接体験・理解してもらうことで海外企業等との接点創出、ビジネス連携の促進を図る。

県内企業の優れた技術や製品、滋賀県の産業の強みを産官が連携してPRし、海外からの投資や新たなビジネス機会を創出する。

駐日外交団等を対象とした県内企業視察



実際の製品や技術との紹介・理解

協業プロジェクト実施のきっかけ

海外取引・連携先との関係構築



国際会議等への参加による
県内企業PRおよび商談

- ✓ 海外進出において重要な海外政府や自治体との関係構築を産官が連携して実施。
- ✓ 県内企業の優れた技術や製品、滋賀県の産業の強みをPR



新 グローバルサウスプロジェクト組成支援事業 18,500 千円

成長が見込まれるグローバルサウスを中心とした海外における県内企業の持続的な事業展開に向け、「海外現地のニーズ等の調査」、「展示会出展等によるビジネス機会の創出」、「産学官・企業間・海外自治体との連携強化」、「国等の支援スキームの活用促進」等を包括的に実施することにより、県内企業を主体とした具体のプロジェクト組成を促し、県内企業の海外展開を後押しする。

商工観光労働部 商工政策課 (内線 3714)

新 環境ビジネスマッチング支援事業 5,500 千円

環境課題の解決を切り口とした県内企業のビジネス展開を支援するため、ジェトロ滋賀貿易情報センターと連携した海外のニーズ調査、海外環境関連企業とが環境ビジネス推進ネットワーク参加企業等との商談会を実施する。

商工観光労働部 商工政策課 (内線 3714)

新 海外市場開拓支援事業 14,000 千円

関税等によって国際情勢が変化中、調達・生産・販売等の多元化を進めて海外市場の変化に対応するため、調査マーケティングや海外商談会への出展など海外市場の開拓に取り組む県内企業等への補助を行う。

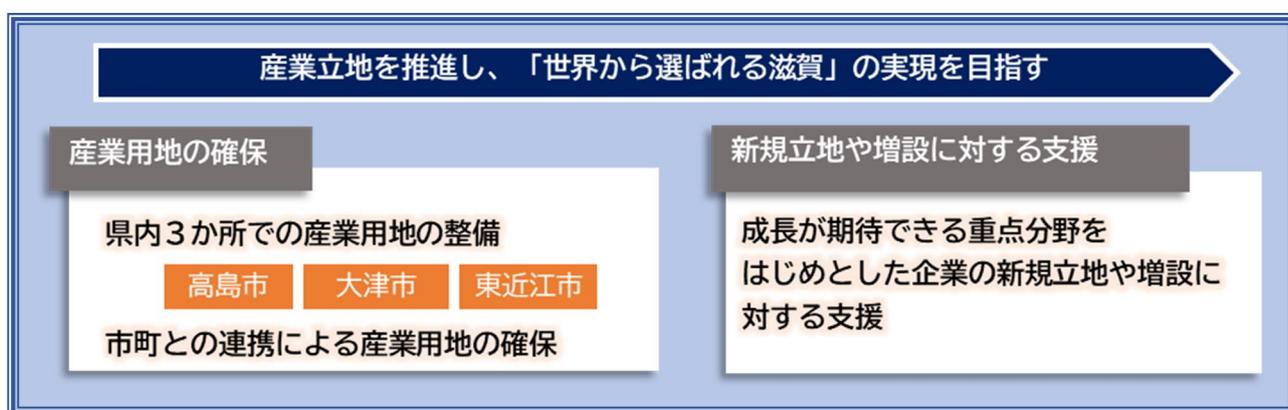
商工観光労働部 商工政策課 (内線 3714)

ベトナムビジネス・トータルサポート事業 10,535 千円

ベトナムでのビジネス展開を目指す県内企業に対し、現地情報の提供や相談対応、ビジネスマッチング支援等を行い、県内企業の海外展開を促進する。

商工観光労働部 商工政策課 (内線 3714)

(2) 稼ぐ力の強化_本県経済の成長につながる産業立地の推進



産業用地開発事業 474,100 千円

用地を求める企業のニーズに応えるべく、昨年度選定した県内3つの候補地において、市と連携しながら、基本設計、測量調査、環境影響評価等を行い、産業用地の整備を進める。

商工観光労働部 産業立地課 (内線 3781)

産業用地開発資金貸付金 221,199 千円

産業用地開発に取り組む市町に対し無利子貸し付けを行い、市町による産業用地の整備等の取組を支援する。

商工観光労働部 産業立地課 (内線 3781)

企業立地推進事業(産業立地戦略推進助成金) 50,000 千円

県経済を持続的に成長させるため、滋賀県産業立地戦略において今後更なる成長が期待できるとした産業分野における新規立地や増設に対し支援する。

商工観光労働部 産業立地課 (内線 3792)

(3) 稼ぐ力の強化_中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化・下支え

支援機関の伴走支援力強化

新商品開発、販路開拓、価格転嫁、
生成AI等新技術の活用等にかかる伴走支援

事業者の事業継続に対する支援

県制度融資を通じた資金繰り支援
円滑な事業承継の促進

長引く物価高騰への対応や賃上げ環境整備など、中小企業の経営基盤の下支えが必要

中小企業等への支援による地域経済活性化事業

303,200 千円

長引く物価高騰や賃上げの影響を受ける事業者を支援するため、賃上げ環境整備にかかる伴走支援の強化など、県内中小企業・小規模事業者の実情を熟知する商工団体等が実施する取組に要する経費に対して助成する。

商工観光労働部 中小企業支援課 (内線 3733)

小規模事業経営支援事業費補助金

1,454,225 千円

商工会、商工会議所および商工会連合会が小規模事業者のために行う経営改善普及事業等に要する経費に対して助成する。

商工観光労働部 中小企業支援課 (内線 3733)

中小企業連携組織対策事業費補助金

102,247 千円

滋賀県中小企業団体中央会が中小企業の組織化、育成および指導のために行う事業に要する経費に対して助成する。

商工観光労働部 中小企業支援課 (内線 3733)

中小企業振興資金貸付金

26,508,000 千円

中小企業者等の生産性の向上と事業活動の活発化を図り、もって経営基盤の強化とその振興発展に資することを目的として、経営の安定と体質改善に必要な資金の貸付けを行う。

商工観光労働部 中小企業支援課 (内線 3732)

中小企業振興資金保証料軽減補助事業

114,770 千円

中小企業者等の信用保証料負担の軽減を図るため、滋賀県信用保証協会に対し信用保証料軽減に係る補助金を交付する。

商工観光労働部 中小企業支援課 (内線 3732)

新 事業承継・成長促進事業 6,075 千円

事業承継を契機とした新商品開発や人材育成等に向けた取組に係る経費の一部を補助することにより、中小企業等の円滑な事業承継と成長の促進につなげる。

事業承継・成長促進補助金(補助率:2/3 補助対象:県内中小企業等) 6,000 千円

商工観光労働部 中小企業支援課 (内線 3733)

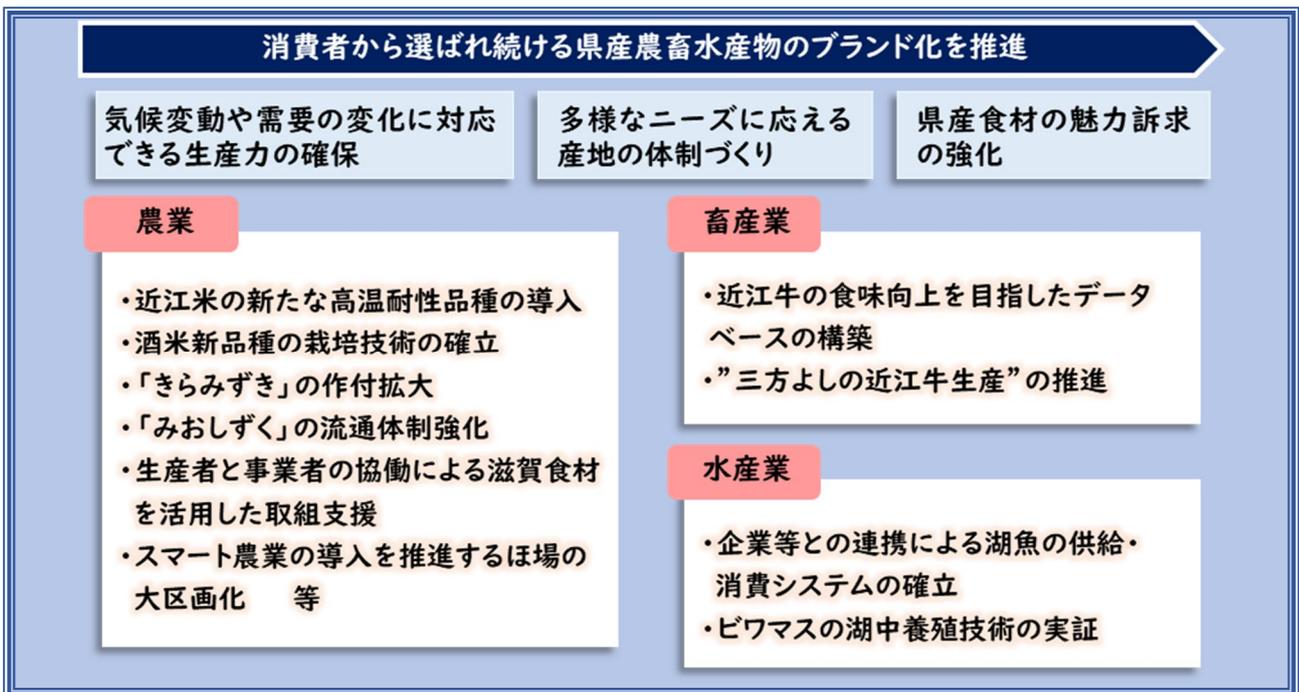
北部地域事業承継促進事業 15,726 千円

特任相談員を北部地域の商工会および商工会議所に設置し、事業承継ニーズの発掘や後継者を対象としたセミナーの開催等により、北部地域の事業承継を促進する。

商工観光労働部 中小企業支援課 (内線 3733)

2 持続的で環境とも調和した農林水産業の推進

(1) 持続的で魅力ある滋賀の農畜水産業の推進



新 水稲高温耐性品種生産体制強化事業 6,383 千円

猛暑等の影響により近江米の収量・品質の低下が課題となる中、「近江米生産・流通ビジョン」(第3期)の実現に向け、高温耐性品種への転換に向けた生産・集荷・販売体制の強化を図るとともに需要に応じた生産を進め、近江米の生産力の強化と力強い本県農業の体制づくりを目指す。

農政水産部 みらいの農業振興課 (内線 3843)

「オーガニックといえは滋賀」ブランド化推進プロジェクト 10,300 千円

オーガニック農業の拡大の柱である「きらみずき」について、栽培技術の向上や水田除草機等の導入の支援により作付拡大を図るとともに、情報発信の強化により「オーガニックといえは滋賀」という産地ブランドの確立を目指す。

農政水産部 みらいの農業振興課 (内線 3843、3890)

新 **酒米新品種を活用した近江の地酒振興プロジェクト** 1,600 千円

近年、猛暑等の影響による酒米の収量・品質の低下等により酒造りに大きな影響が生じている。そうした中、気候変動下でも安定した生産が可能な酒米の新品種「滋賀酒 85 号」について安定生産に向けた栽培技術の確立を図るとともに、実証栽培や種子生産等の取組を支援し、酒米の生産性と品質を向上させ、蔵元の求める原料米の安定供給につなげる。

農政水産部 みらいの農業振興課 (内線 3843)

事業内容

■酒米新品種を活用した近江の地酒振興プロジェクト

酒米新品種原料米の安定供給と近江の地酒振興を図る

酒米の生産性と品質の向上



【安定生産】

施肥管理等の栽培技術や品種特性に応じた栽培体系の確立への取組

【生産体制強化】

栽培体系の実証に係る取組や、採種ほ(田)の設置に対する支援

「GI滋賀」のブランド力の強化



【醸造適性の評価・特性の把握】

醸造酒の特性把握と、各蔵元で特性を最大限に発揮する酒造りのための適性評価

【販売プロモーション】

デビュー年(令和8年度)における販売プロモーションやデビューイベントの開催

部局横断(農政水産部、商工観光労働部)による取組

しがの園芸産地次世代拠点づくり事業 32,200 千円

本県の都市近郊の立地を生かし、消費者や実需者のニーズに応え、園芸品目を安定供給できる大規模産地の育成を図るとともに、既存産地の維持・活性化に向けた取組を進め、次世代の中核となる滋賀の園芸産地の拠点を構築するため、産地育成に向けたロードマップの作成やその実践を支援する。

農政水産部 みらいの農業振興課 (内線 3834)

「近江の茶」グローバル産地づくり支援事業 4,454 千円

競争力のある「近江の茶」の新たな商品開発に資するため、「省力的」かつ「環境負荷の低減」が可能なオーガニック茶栽培技術を確立し、輸出向け産地の育成を図る。

農政水産部 みらいの農業振興課 (内線 3834)

新 「みおしずく」流通体制強化事業 12,000 千円
 本県オリジナルいちご品種「みおしずく」について、県域での市場出荷型産地としての届ける力を強化するため、生産者組織と関係機関が連携したコールドチェーンの整備や流通経路の見直し等の取組を支援する。

農政水産部 みらいの農業振興課 (内線 3834)

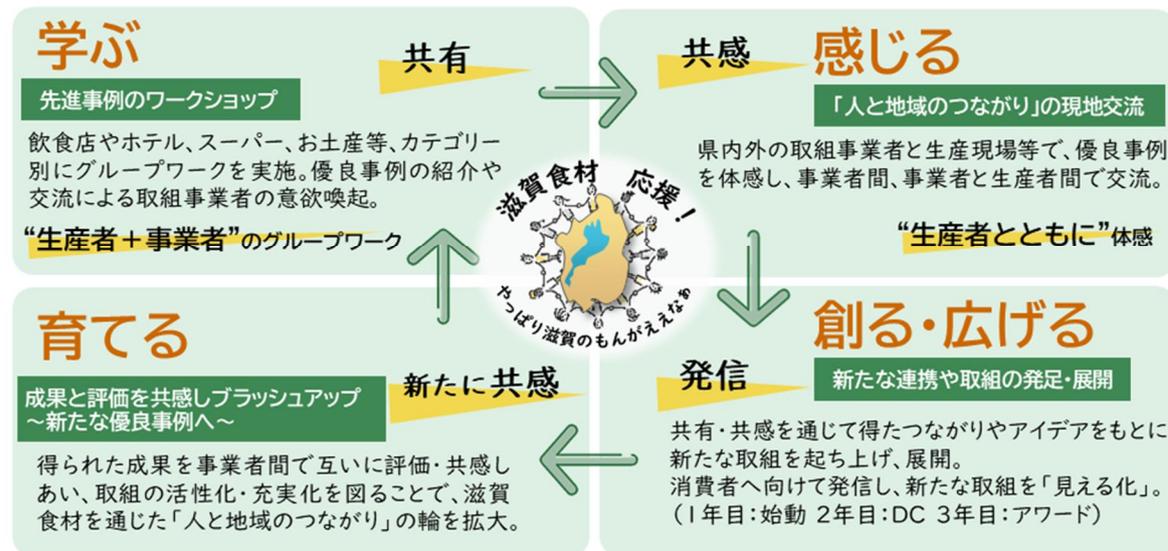
新 みんなで伝える滋賀食材!つながり育む魅力創造強化事業 13,000 千円
 県内外の意欲ある事業者と県内生産者の協働を促進し、滋賀県食材を活用した新たな取組、付加価値の向上、消費者への発信などを支援し、滋賀県食材の消費拡大と、利活用に取り組む人と地域の輪の拡大につなげる。

農政水産部 みらいの農業振興課 (内線 3891)

事業内容

■みんなで伝える滋賀食材!つながり育む魅力創造強化事業

多様な人と地域のつながりの輪を拡大し、魅力ある滋賀の農畜水産物を展開



しがの農畜水産物マーケティング戦略推進事業 6,418 千円
 滋賀県産農畜水産物の消費拡大およびブランド力向上を目的に総合的なPR活動を推進する。併せて滋賀県農畜水産物等輸出促進協議会等の運営経費の一部を負担し、本県農畜水産物等の海外展開を支援する。

農政水産部 みらいの農業振興課 (内線 3893)

農福連携推進事業 12,505 千円
 農福連携のさらなる拡大を図るため、農業者と福祉事業者等との農作業受委託等のマッチングを進めるとともに、しがの農×福ネットワークの運営等を通じた交流会や農作業スキル習得講座等の開催、施設整備等の支援を行う。

農政水産部 みらいの農業振興課 (内線 3847)

事業内容

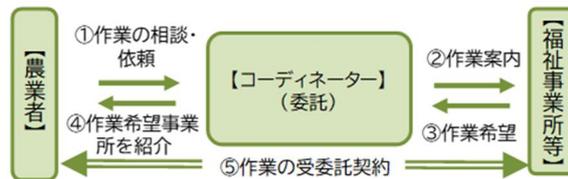
■農福連携

相互理解

・農作業スキルの習得講座開催 / ・交流会・勉強会の開催と情報発信

マッチング・施設整備

・農業者と福祉事業所等との農作業受委託等のマッチングを推進
 ・ユニバーサル農園の開設、地域協議会の体制整備、安全・衛生面に係る施設整備等



新 産官学で食味向上を目指す近江牛生産プロジェクト 7,500 千円

食味の高い近江牛生産の推進に必要なデータベースを構築するため、枝肉のオレイン酸含有率の測定を実施するとともに、繁殖牛の遺伝的能力を把握する遺伝子検査に対して補助する。

農政水産部 畜産課 (内線 3853)

“三方よしの近江牛生産”みらいへつなぐ近江牛振興事業 2,045 千円

将来にわたり選ばれる近江牛であり続けるために、牛よし、人よし、社会よしの三方よしの近江牛生産の取組やPR活動を支援し、ブランド力の向上を図る取組を推進する。

農政水産部 畜産課 (内線 3853)

新 企業等との新結合による湖魚の供給・消費システム化事業 27,680 千円

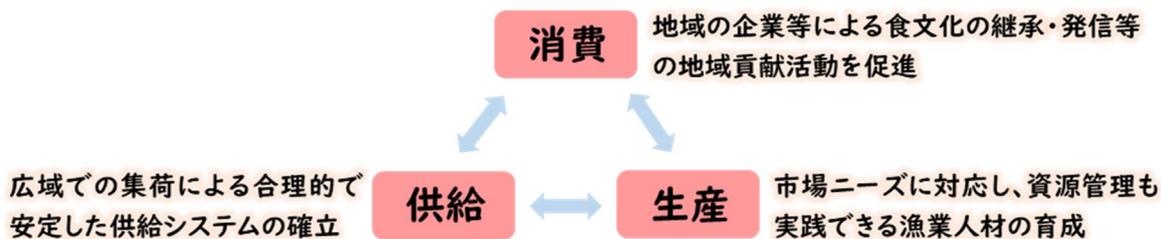
企業等との連携による湖魚の新たな需要の創出と担い手による安定した供給が循環する供給・消費システムを確立するため、消費・供給・生産に係る取組を一体的に実施する。

農政水産部 水産課 (内線 3873)

事業内容

■企業等との新結合による湖魚の供給・消費システム化事業

滋賀ならではの湖魚食文化に親しんで「支える」「守る」サイクルを実現



ビワマス湖中養殖推進プロジェクト

5,000 千円

担い手の漁業収入基盤を創出するため、琵琶湖での新たな養殖業の確立に向けたビワマスの湖中養殖技術の実証を進めるとともに、ブランド化を目指した品質・規格、価格帯等に関するマーケティング調査を行う。

農政水産部 水産課 (内線 3873)

県営経営体育成基盤整備事業

1,175,395 千円

農地の大区画化や汎用化(水田の畑地利用)、末端水路等の更新整備を行い、高い生産効率、高収益作物の導入・生産拡大等が可能となる農業基盤を整える。

また、農地中間管理機構と連携し、将来の農業生産を担う経営体(担い手)への農地の利用集積・集約化を推進し、大規模で安定した農業経営の実現を図る。

農政水産部 耕地課 (内線 3943)

(2) 世界農業遺産「琵琶湖システム」を活用した県産農水産物のファン拡大と持続可能な農村・漁村づくり

「世界農業遺産」プロジェクト推進事業

21,320 千円

世界農業遺産「琵琶湖システム」を健全な姿で次世代に引き継ぐため、子ども・若者に実際の農林水産業の現場を体感してもらう機会の提供や、滋賀県産農産物と湖魚を用いたグルメの地域定着・持続化、Instagram を活用した食材などの魅力発信等を行うことで、次世代の担い手確保や県産農水産物の高付加価値化、観光資源としての活用等につなげる。

農政水産部 農政課 (内線 3825)

事業内容

■「世界農業遺産」プロジェクト推進事業



「学ぶ」「食す」「訪れる」の3つの柱により「琵琶湖システム」を感じてもらえる機会を拡大し、次世代を担う子どもへの学習・体感機会の提供、県産食材の消費拡大、観光振興を図るとともに、農業・水産業に関わる「人のすそ野」を拡大する。

琵琶湖システムを次世代につなぐために

学ぶ 「琵琶湖システム」を学ぶ

「琵琶湖システム」の体感・次世代継承に向けた機会の提供
学習教材の更なる活用・出前講座など



琵琶湖システムを身近に感じるために

食す 「琵琶湖システム」を食す

「びわ湖魚グルメ」の地域定着化・持続化
「健康しが」と「琵琶湖システム」の連携による「食」を通じた健康づくり



琵琶湖システムをより深く感じるために

訪れる 「琵琶湖システム」を訪れる

「琵琶湖システム」に関する商品開発や新規ビジネスの展開
観光振興局との連携によるプロモーションの強化



琵琶湖システムの魅力を広く伝えるために

発信する 「琵琶湖システム」の発信機能を強化

SNSによる魅力発信の強化
HPを活用した「学ぶ」「食す」「訪れる」への誘導



》》 世界農業遺産「琵琶湖システム」の体感機会の拡大による滋賀の農畜水産業のファンの創出

漁と魚と料理を堪能できる北の近江プロジェクト 11,000千円

県北部地域の活性化を図るため、北の近江地域の水産業に携わる担い手が学生や地元事業者等との連携のもとに行う、域外の観光客等を対象とした湖魚食文化を堪能できる催事等の取組を促進する。

農政水産部 水産課 (内線 3873)

新 醒井養鱒場 150周年記念催事推進事業 5,395千円

令和10年に迎える150周年を契機として、醒井養鱒場の魅力発信と将来への機能の継続を図るため、魚とのふれあいを通じた学びや体験ができる機能と魅力の向上を図る。

農政水産部 水産課 (内線 3873)

しがのアグリツーリズム推進事業 4,568千円

世界農業遺産「琵琶湖システム」を活用した農山村滞在型旅行「農泊」を「しがのアグリツーリズム」として推進するもので、農泊に係る地域の支援、講演会等の実施、県ホームページでの情報発信の強化等により農泊に取り組む地域を広げ、農村地域の振興につなげる。

農政水産部 農村振興課 (内線 3960)

新 農山村観光コンテンツ造成事業 4,000千円

令和9年秋のデスティネーションキャンペーン(DC)を見据え、農山村地域の観光素材集の作成や、体験・宿泊施設を紹介している県ホームページのDC対応整備により、旅行事業者の観光商品造成の促進や農山村地域への誘客につなげ、地域の活性化を図る。

農政水産部 農村振興課 (内線 3960)

新 棚田×アート魅力発信プロジェクト 2,000千円

これまで地域住民とボランティアによって守られてきた棚田地域において、大学と連携して田んぼアートやイラストマップ、PR動画コンテンツを制作し、アートの力で棚田地域の魅力を発信することで、さらなる関係人口の創出や地域活性化を図る。

農政水産部 農村振興課 (内線 3963)

未来につなぐ中山間支え合いプロジェクト 18,910千円

中山間地域において持続可能な農村を実現するため、地域の課題解決に向けて市町等関係機関と連携した体制による伴走支援を行うとともに、集落と企業・大学等との交流やマッチングを支援して両者が連携した取組を促進することにより、地域活性化を図る。

農政水産部 農村振興課 (内線 3960)

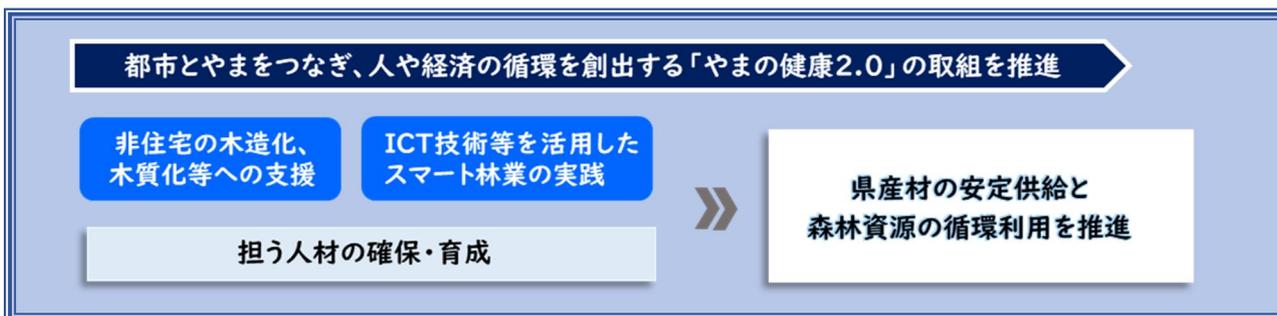
豊かな生きものを育む水田づくりプロジェクト

4,812 千円

高齢化や担い手不足により、魚のゆりかご水田に代表される環境や生きものに配慮した「豊かな生きものを育む水田」に取り組む地区が減少傾向にあるため、サポート体制の構築や首都圏や県内で試食イベントの開催等により、魚のゆりかご水田米の普及拡大および魚のゆりかご水田米の販路拡大に向けた支援を行う。

農政水産部 農村振興課 (内線 3963)

(3) 民間投資を呼び込む持続可能な森林づくり



「やまの健康」実践事業費(再掲)

9,430 千円

「琵琶湖企業の森コンソーシアム」の仕組みを活用し、より多くの企業等に対して「やま」との様々な関わり方を提案・情報発信することで、都市とやまをつなぎ、人や経済の循環を創出する「やまの健康」の実現を目指す。

琵琶湖環境部 森林政策課 (内線 3918)

未来へつなぐ木の良さ体感事業(再掲)

115,569 千円

住宅および公共施設を含む非住宅の木造化・木質化等の取組に対して支援するとともに、木育に取り組む人材の育成等を行う。また、建築物木材利用促進協定に基づき民間の建築物への木材利用を推進する。

琵琶湖環境部 びわ湖材流通推進課 (内線 3915)

しがスマート林業実践事業

16,043 千円

高性能林業機械やICTなど、最新技術を活用した効率的で収益性の高いスマート林業を実践できる人材を育成することにより、主伐・再造林による循環型林業を推進する。

琵琶湖環境部 びわ湖材流通推進課 (内線 3928)

3 DC を見据えたシガリズムの進化



(1) 観光で稼げる担い手の育成

観光DMP構築推進事業

12,362 千円

観光データマネジメントプラットフォーム (DMP) を構築することで、観光事業者等のデータ活用を促進し、EBPM (データに基づく政策立案) による観光地経営につなげる。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3741)

観光DX人材育成事業

6,000 千円

データの収集や分析等を通じて、新たなビジネスモデルを創出することにより県内各地域の抱える課題解決につながるよう、観光DXをけん引する人材の育成に取り組む。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3743)

(2) シガリズムの推進による観光まちづくり

滋賀デスティネーションキャンペーン推進事業

150,354 千円

令和9年秋(10月から12月)にJRグループ6社と本県が協力して実施するデスティネーションキャンペーンの準備を進めるため、滋賀県シガリズム・デスティネーションキャンペーン推進協議会に対して負担金の拠出等を行う。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3742)

新 誘客プロモーション臨時対策事業 61,100 千円

物価高騰の影響を受けている観光事業者の収益強化につながるよう、デスティネーションキャンペーンの好機を捉えて地域の観光PRを支援するとともに、県内での宿泊や消費につながる旅行商品の造成を促進する。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3742)

観光産業活性化事業(国内観光活性化事業) 88,898 千円

安土城築城 450 年や大河ドラマの放送、滋賀デスティネーションキャンペーン等の好機を活かしたプロモーションの展開や滋賀ならではのコンテンツの創出等により、滋賀の魅力発信と誘客促進につなげる。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3743)

大河ドラマを活用した観光誘客・地域活性化事業 26,930 千円

令和8年1月からの大河ドラマ放送の好機を活かした各種プロモーションの展開等により、滋賀の魅力発信や県内各地への誘客を図る。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3743)

新 映像作品を活用した体験型観光等臨時造成事業 45,830 千円

新規映像作品等を活用した新たな体験型観光コンテンツの造成や実施等に取り組むことにより、観光誘客および地域活性化を促進し、物価高騰の影響を強く受ける県内観光事業者の支援に繋がる事業を実施する。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3745)

映像作品を活用した地域の魅力発信事業 12,500 千円

県内での撮影を支援した映像作品を活用し、その土地ならではの魅力や観光資源を効果的に発信するとともに、ロケ関連地を巡るPR事業を展開することにより、周遊・滞在型の観光機会を創出し、本県の認知度向上や観光誘客による地域振興を図る。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3745)

映像誘致・ロケ支援事業 3,110 千円

映画やドラマ等の映像を通じて本県の豊かな自然や歴史・文化遺産を広く発信することにより、本県のイメージアップ、観光誘客および地域振興を図る。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3745)

教育旅行誘致PR事業 7,471 千円

本県の教育旅行の魅力を学校関係者や旅行事業者に対し積極的に発信し、売り込むことにより、教育旅行のさらなる誘致を図る。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3743)

近江の地酒文化普及事業**9,400 千円**

近江の地酒でもてなし、その普及を促進するイベントの開催や試飲の実施、新品種米を使用した日本酒のPRなど、近江の地酒の魅力発信を行い、需要の掘り起こしや新たなファン獲得につなげる。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3743)

県北部地域観光PR事業**10,000 千円**

県北部地域に所在する日本遺産の構成文化財を周辺の自然・食・文化資源などの魅力と一体的に発信するとともに、県北部地域を中心とした本県特産品の認知度向上や販売拡大を図るため、中京圏および北陸圏等でのPRや、各圏域と連携した物産展への出展等に取り組む。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3743)

観光イベント推進事業**32,500 千円**

観光客の積極的な誘致を図るため、花火大会や祭りなど観光誘客が見込まれる地域の特性を活かした地域主催の観光イベントに対して助成する。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3743)

(3) インバウンド誘客の強化**観光産業活性化事業(インバウンド誘客力向上事業)****69,480 千円**

重点市場である東アジアや、開拓市場である欧米豪に対して、各市場の動向やニーズに応じたプロモーションを展開するとともに、県内事業者へのインバウンド対応支援等により誘客を図る。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3743)

滋賀の文化観光推進事業**5,017 千円**

本県の魅力ある文化財、食文化、農業・水産業、暮らしを活用したインバウンド向けのツアーのプロモーションを展開することにより、本県の魅力向上およびインバウンド誘客の促進を図る。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3743)

(4) ビワイチの新たな展開**ビワイチ観光推進事業****51,192 千円**

ビワイチの魅力を国内外に発信するとともに、子どものビワイチ体験の促進、レンタサイクルの利便性向上によりビワイチの体験者層の拡大を図り、本県の観光振興および活力ある地域づくりを進める。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3746)

ビワイチの新たな展開

「ビワイチの日」イベントの魅力向上や子どものビワイチ体験を促進するとともに、ビワイチの魅力を国内外にさらに発信し、**新たな参加者を掘り起こす**。

また、**様々な交通手段との連携**やレンタサイクルの利便性向上等の取組により、「だれでも、いつでも、どこでも」楽しめるビワイチを目指す。

◆新たな参加者の掘り起こし

- ビワイチの子体験促進事業
子どもが選ぶテーマで実施！
- ビワイチの日、ビワイチ週間推進事業
参加者同士の交流でより楽しく！
- 世界とのつながり強化事業
台湾やヨーロッパにさらにPR！



◆様々な交通手段との連携等

- 手軽なサイクルツーリズムとSA・PA
利用促進実証実験事業
サービスエリアを地域周遊の拠点に！
- レンタサイクルワンウェイ事業
途中返却拠点をさらに充実！
- 「ビワイチの日」でのサイクルクルーズ
船で琵琶湖をショートカット！

(5) 3期目を見据えた「ここ滋賀」拠点機能の最大化

ここ滋賀推進事業

220,780千円

東京・日本橋の情報発信拠点「ここ滋賀」において滋賀の観光資源や名産品の魅力を発信し、誘客、移住等の促進を図るとともに、意欲的な県内事業者等への支援を通じて首都圏での販路拡大を図る。

商工観光労働部 ここ滋賀 (03-6225-2951)

4 大津港の活性化

「みなと」を核に、大津港周辺と一体でまちづくりを推進

魅力と機能を磨く

暮らしと体験を創る

安全と安心を高める

大津港の活性化と再整備

「みなとオアシス」の登録



日本一にぎわいのある
「湖の港」へ

「大津港活性化・再整備基本構想」(2025.3策定)

新 大津港の活性化と再整備

50,976千円

令和9年12月に予定している新琵琶湖文化館の開館に合わせて、来館者用入口前に位置するシンボル緑地エリアを一体的に整備する。また、老朽化している栈橋の改修を行う。

併せて、びわこ花噴水等港湾施設の再整備に向けて、関係団体・関係行政職員等による検討会を開催する。

土木交通部 流域政策局 (内線4162)

新 「みなとオアシス」登録

- 千円

大津港近隣施設や関係団体等と連携し、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長から「みなとオアシス」登録を受けることを目指す。

土木交通部 流域政策局 (内線 4162)

柱⑥ 豊かな「自然」を育む環境づくり

【予算額 55.6 億円】

琵琶湖とそれを取り巻く自然環境や生物多様性の保全・再生を図り、自然、人、あらゆるいきものが共生する持続可能な社会に向け、「CO₂ネットゼロ社会の推進」「CN,CE,NP※の統合的推進」「琵琶湖やそれを取り巻く環境の保全・再生」等の取組を推進する。

※CN:カーボンニュートラル CE:サーキュラーエコノミー NP:ネイチャーポジティブ

CO₂ネットゼロ社会づくりの推進

「滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくり推進計画」改定。令和7年度中に新たな温室効果ガス排出量削減目標を設定

▶▶ 令和8年度からは、新たな目標の実現を目指して全部局で取組を加速化

重点取組

● 再エネ導入・省エネ推進

- ・太陽光発電および蓄電設備の導入拡大
- ・ZEH化支援
- ・サプライチェーンの脱炭素化 等

● イノベーションの創出

- ・ペロブスカイト太陽電池の率先導入
- ・水素社会づくりの推進
- ・地域活性化につながる新技術開発・実装 等

● 吸収源の確保・維持

- ・森林等の温室効果ガス吸収源の確保、拡大
- ・CO₂固定コンクリートなど新たな吸収源の確保 等



● 適応策

- ・農業水産業に関する取組
- ・自然災害・健康に関する取組

CO₂ネットゼロ社会を実現するための8つの柱

① CO₂ネットゼロにつながる快適なライフスタイルへの転換

② 自然環境と調和する地域づくり

③ 競争力ある産業の創出

④ 資源の地域内循環による地域の活性化

⑤ 革新的なイノベーションの創出

⑥ CO₂ネットゼロ社会に向けたムーブメントの創出と行動変容

⑦ 気候変動への適応

⑧ 県における率先実施

I CO₂ネットゼロ社会づくりの推進

(1) 新たなCO₂ネットゼロ社会づくり推進計画の推進

ペロブスカイト太陽電池社会実装モデル構築事業

60,000 千円

計画の再エネ導入目標達成に向け、太陽光発電設備設置の適地不足を解消し、地域と調和した導入を推進するため、他自治体に先駆けて次世代型太陽電池の運用管理・施工技術の知見を蓄積、県内事業者を育成することにより、本格導入が開始される頃にいち早く導入を進められる体制を構築するとともに、従来型太陽光発電設備が設置困難な県有施設に対してペロブスカイト太陽電池を導入する。



総合企画部 CO₂ネットゼロ推進課 (内線 3091)

補助道路整備事業費_自転車通行空間整備の推進(ビワイチ) 702,254千円

利用者の増加している自転車での琵琶湖一周「ビワイチ」の安全・安心を図るため、青矢羽根や自転車通行帯など自転車通行空間の整備を推進する。

利用者に環境保全意識を醸成させ、さらには、日常においても観光においても自転車が移動等の選択肢の一つとなることで、CO₂ ネットゼロ社会の創造を目指す。

土木交通部 道路保全課 (内線 4132)

CO₂ ネットゼロ住宅ストック形成事業費 94,109千円

CO₂ ネットゼロ社会の実現や優良な住宅ストックの形成に向け新築住宅のZEH化を促進する。

土木交通部 住宅課 (内線 4235)

庁用自動車維持管理費 8,500千円

地球温暖化対策として、県庁が率先して、環境への負荷を減らす行動を示していく必要があり、現在運用されているガソリン車等の既存車両を、高効率な電気自動車やプラグインハイブリッド車等へ順次更新していく。

総務部 総務課 (内線 3149)

(2) 「CO₂ ネットゼロと気候変動への適応」に向けた取組の推進**耕・畜・バイオマスエネルギー利用等 CO₂ ネットゼロ実装加速化事業 8,322千円**

県内におけるバイオマスエネルギーの利用を推進するため、バイオガス生成時の副産物(液肥)利用の実証やエネルギー作物の試験的導入の検討に取り組む市町への補助、農業技術振興センターにおける液肥の水稲作への活用方法の検討、エネルギーの地産地消や環境負荷低減等の課題に対する企業・大学と連携した調査・研究を行う。

農政水産部 農政課 (内線 3825)

新 水稻高温耐性品種生産体制強化事業(再掲) 6,383千円

猛暑等の影響により近江米の収量・品質の低下が課題となる中、「近江米生産・流通ビジョン」(第3期)の実現に向け、高温耐性品種への転換に向けた生産・集荷・販売体制の強化を図るとともに需要に応じた生産を進め、近江米の生産力の強化と力強い本県農業の体制づくりを目指す。

農政水産部 미래の農業振興課 (内線 3843)

「オーガニックといえば滋賀」ブランド化推進プロジェクト(再掲) 10,300千円

オーガニック農業の拡大の柱である「きらみずき」について、栽培技術の向上や水田除草機等の導入の支援により作付拡大を図るとともに、情報発信の強化により「オーガニックといえば滋賀」という産地ブランドの確立を目指す。

農政水産部 未来の農業振興課 (内線 3843、3890)

新 酒米新品種を活用した近江の地酒振興プロジェクト(再掲) 1,600千円

近年、猛暑等の影響による酒米の収量・品質の低下等により酒造りに大きな影響が生じている。そうした中、気候変動下でも安定した生産が可能な酒米の新品種「滋賀酒85号」について安定生産に向けた栽培技術の確立を図るとともに、実証栽培や種子生産等の取組を支援し、酒米の生産性と品質を向上させ、蔵元の求める原料米の安定供給につなげる。

農政水産部 미래の農業振興課 (内線 3843)

オーガニック農業推進総合対策事業 37,920千円

オーガニック農業をより一層推進するため、水稻に加え、これまで取組が限定的な畑作物等の技術確立や普及拡大を促進するとともに、モデル地区創出を目指す市町やオーガニック栽培に取り組む農業者を支援する。

農政水産部 未来の農業振興課 (内線 3895)

環境と調和のとれたみらいの農業推進事業 7,200千円

琵琶湖を中心とした環境と調和のとれた農業の普及推進を図るため、農地土壌への炭素貯留促進やプラスチック肥料の普及、温暖化に伴い増加する病害虫等への対策技術の確立に取り組む。

農政水産部 未来の農業振興課 (内線 3841)

新 アユ産卵用人工河川の気候変動適応化技術開発事業 19,990千円

高水温等の影響による天然河川での産卵減少により、アユ資源維持のための人工河川の重要性が増している中、人工河川から流下したアユ仔魚の動態や生育環境を調査することで、気候変動下での人工河川の現状と課題を把握し、効果的な運用方法を明らかにする。

農政水産部 水産課 (内線 3874)

事業内容

■アユ産卵用人工河川の気候変動適応化技術開発事業

人工河川の現状把握と効果的な運用方法を明らかにする

最適な流下時期の検証 アユふ化仔魚追跡調査 →いつ流下させるとよいのか(ダメなのか)

物理環境の把握 人工河川水動態調査 →河川水が適切に流れ込んでいるか

餌環境の把握 アユふ化仔魚生育環境調査 →餌不足になっていないか

琵琶湖の漁場生産力の評価および回復に関する技術開発研究 4,327千円

琵琶湖の水質は改善傾向にある一方で、気候変動による環境変化とともに、魚介類の成長不良などにより水産資源が不安定化しており、その要因として、餌不足など漁場生産力の低下が疑われ

ている。そのため、アユやニゴロブナを指標として漁場生産力の現状を評価し、その回復手法の検討を行う。

農政水産部 水産課 (内線 3874)

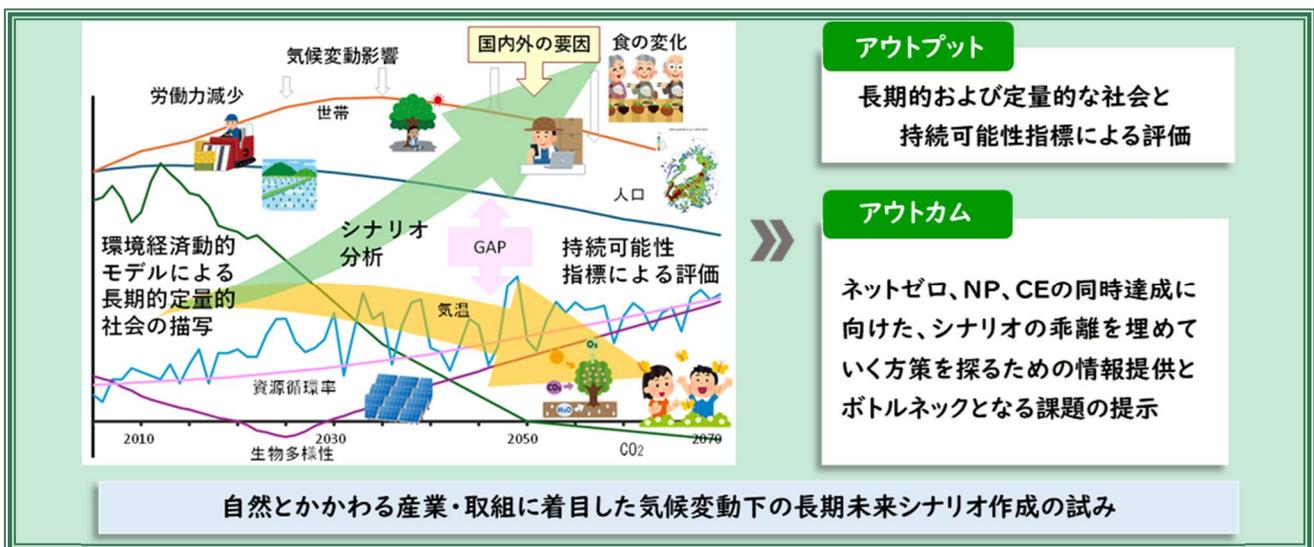
CO₂ネットゼロヴィレッジ創造事業

11,000 千円

農村地域の活性化に向け、再生可能エネルギーの地産地消に取り組む地域協議会等に対して、運営組織の整備、地域計画の策定および再生可能エネルギー設備の導入を補助するとともに、県内での取組を拡大、深化させるため、今後に必要な支援の検討やセミナーを開催する。

農政水産部 農村振興課 (内線 3961)

2 持続可能な社会の実現に向けたCN、CE、NPの統合的推進



補助造林事業

820,500 千円

森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ森林整備を計画的に推進するとともに、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、もって森林環境の保全に資する。

琵琶湖環境部 森林保全課 (内線 3935)

湖南中部浄化センター下水汚泥燃料化事業

2,943,000 千円

汚泥を安定処理するとともに、バイオガス化および固形燃料化により下水汚泥のエネルギーの有効利用を図る。

琵琶湖環境部 下水道課 (内線 4221)

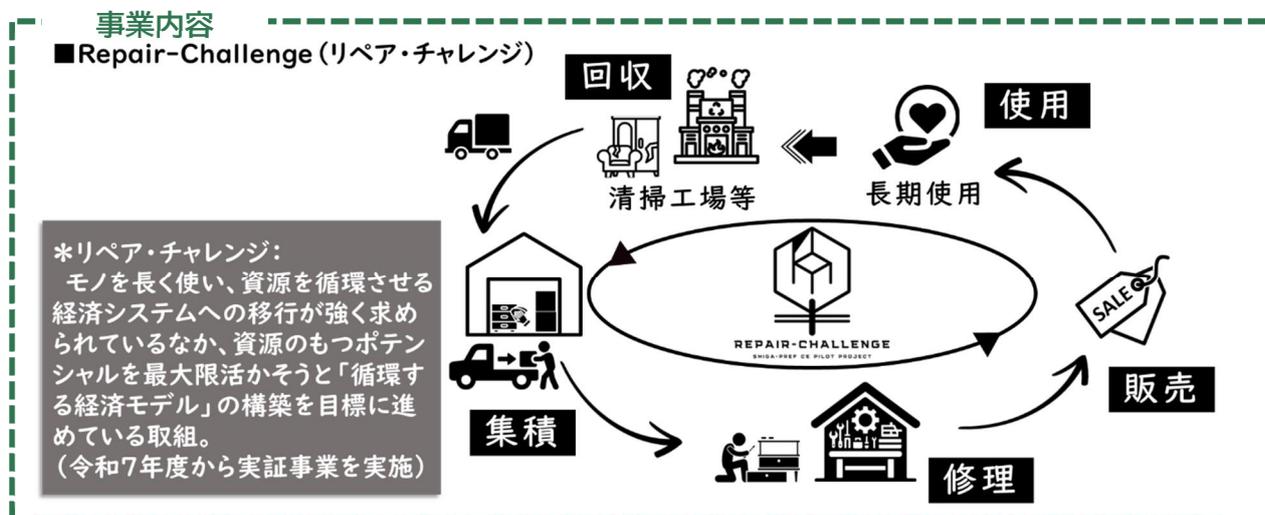
産業廃棄物発生抑制等推進事業

80,872 千円

滋賀県産業廃棄物税を産業廃棄物発生抑制等推進基金へ積み立て、リサイクル製品の認定および普及促進、サーキュラーエコノミーの実現に向けた実証事業(「Repair-Challenge」廃家具

類の回収・修理・販売の実証)の実施、先進的な研究開発、施設整備等の支援に活用するとともに、3Rの先進取組事例の情報発信等により産業廃棄物の発生抑制と資源化を進める。

琵琶湖環境部 循環社会推進課 (内線 3472)



産業廃棄物適正処理対策事業

25,456 千円

産業廃棄物処理業者やPCB廃棄物保管事業者等に対して、適正処理に関する指導、啓発等を行う。

また、第六次廃棄物処理計画等を策定するとともに、「再資源化事業等高度化法」の趣旨を踏まえ、再資源化の高度化の視点から、県内事業者の取組実態やニーズを把握し、同法を活用した県の支援策を検討する。

琵琶湖環境部 循環社会推進課 (内線 3472)

ごみゼロしが推進事業

13,151 千円

プラスチックごみや食品ロスの削減を県民運動として推進するため、「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」による普及啓発や、事業者の取組支援、フードドライブの推進等により、県民や事業者の実践取組を促進する。また、大阪・関西万博やわた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大会で実施された給水機の設置、リユース食器の利用などの取組を今後開催される各種イベントに継承するため、その取組の要点などを広く発信し、プラごみ、食品ロスの削減を図る。

琵琶湖環境部 循環社会推進課 (内線 3472)

新 自然資本の地域活動やビジネスへの活用事業

41,644 千円

国立環境研究所琵琶湖分室と連携し、琵琶湖の生物分布や水環境の可視化に向けた連携研究を実施する。また、これらの研究成果を多様なステークホルダーの協働による地域での保全事業等に活用するとともに、ビジネス化に向けたモデル構築を進めることで、自然と経済が両立する持続可能な地域発展とネイチャーポジティブの同時達成を推進する。

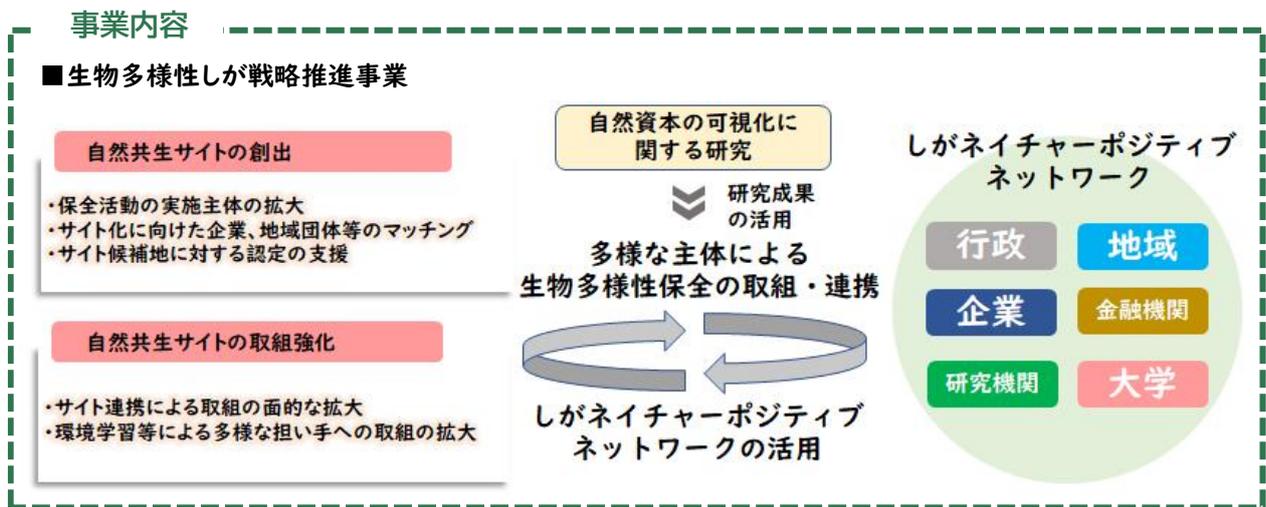
琵琶湖環境部 環境政策課 (内線 3453)

新 生物多様性しが戦略推進事業

5,192 千円

ネイチャーポジティブの実現に向けて、モニタリング手法や保全活動の成果の可視化等について研究機関とも連携しながら企業や地域団体のマッチング等による自然共生サイトを創出するとともに、既存の自然共生サイトを活用した面的な連携・拡大による取組強化などを進める。

琵琶湖環境部 自然環境保全課 (内線 3483)



新 自然とかがわる産業・取組に着目した気候変動下の長期未来シナリオ作成の試み

2,856 千円

農林業等、関連取組の維持・再興が持続可能社会実現の主要な課題とみなし、現在から今後50年程度の将来社会への道筋を描く長期数理モデルを開発し、気候変動・自然再興・循環経済の同時達成を目指す持続可能性指標を用いてシナリオを示す。また、将来像とそこに至る道筋を議論・共有するための定量的な情報を提供し、長期的な視点を要する施策の方向性を示す。

琵琶湖環境部 環境政策課 (内線 3453)

3 琵琶湖を取り巻く環境の保全・再生

(1) 琵琶湖を取り巻く環境の保全・再生

新 試験研究の推進

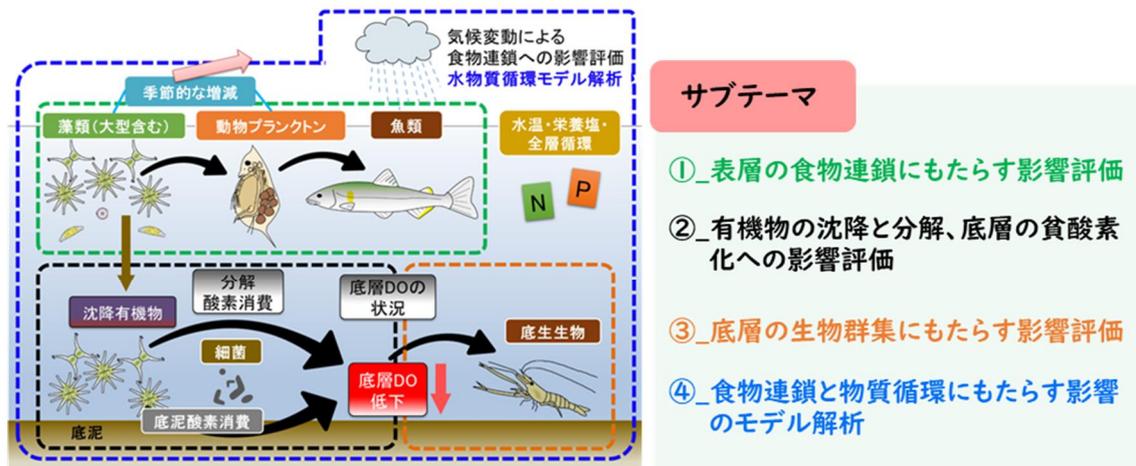
21,646 千円

(気候変動が琵琶湖の生態系と物質循環にもたらす影響に関する研究)

良好な水質と豊かな生態系の両立に向け、気候変動が琵琶湖の生態系や物質循環に及ぼす影響を明らかにする研究を実施する。水産資源に関しては、気候変動の影響によるプランクトンの季節的増減の変化と、アユ仔魚の琵琶湖への流下時期との関係等について水産試験場と連携した検証を行う。

琵琶湖環境部 環境政策課 (内線 3354)

研究イメージ



サブテーマ

- ①_表層の食物連鎖にもたらす影響評価
- ②_有機物の沈降と分解、底層の貧酸素化への影響評価
- ③_底層の生物群集にもたらす影響評価
- ④_食物連鎖と物質循環にもたらす影響のモデル解析

複合的な影響を評価し、適応策により影響が緩和される可能性を把握

衛星画像による森林管理推進事業

7,600 千円

県全域の衛星画像が搭載されるシステムを活用し、山地災害等の森林の変化をモニタリングするとともに、森林病虫害等の被害を AI で解析することにより効果的・効率的な森林管理を行う。

琵琶湖環境部 森林政策課 (内線 3927)

侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業

189,544 千円

琵琶湖の生態系への影響が懸念されているオオバナミズキンバイやナガエツルノゲイトウ等の侵略的外来水生植物について、戦略的な防除を行う。また、スケールメリットを活かした業者委託による駆除と地域によるきめ細かな駆除の連携により局所的な根絶を図る新たなモデル等による対策を推進する。

琵琶湖環境部 自然環境保全課 (内線 3483)

ツキノワグマ第一種特定鳥獣保護計画推進事業

18,121 千円

「ツキノワグマ第一種特定鳥獣保護計画」に基づき、適切な保護管理を推進するため、生息状況調査を実施する。また、出没予測を行うための堅果類(ブナ、ミズナラ、コナラ)の豊凶調査を実施するとともに、緊急銃猟制度の適切な運用のため、市町の支援や県民への情報提供等の対応を行う。

琵琶湖環境部 自然環境保全課 (内線 3489)

事業内容

■ツキノワグマ対策

短期的な対応

- ・緊急銃猟制度の理解促進と支援
(市町説明会の開催等)
- ・クマ出没情報の集約と注意喚起等の発信
- ・クマ出没時の対応や捕獲に関する研修会の実施
- ・捕獲等に関する機材の調達

中長期的な対応

- ・適切な個体数管理に向けた個体数調査
(岐阜県等との連携)
- ・計画見直しの前倒し等検討
(現計画(~R10.3)の課題整理等)
- ・クマの生息環境の整備
(豊かな森林づくりの推進等)
- ・専門知識を有する人材の育成
(国・市町との連携)

近隣県や県内市町、警察、住民等が連携し、ツキノワグマの管理と人身被害の回避に対応する

環境影響評価施行費

2,511千円

令和7年度に滋賀県環境影響評価条例の一部を改正し、工場・工業団地造成に係る環境影響評価手続の一部を合理化するとともに、工場の面積要件の見直しを行った。

令和8年度以降、改正後の条例に基づき、滋賀県環境影響評価審査会の運営等を通じて、大規模事業が実施される際の環境影響の回避低減に向けた適切な条例制度の運用を進める。

琵琶湖環境部 環境政策課 (内線 3357)

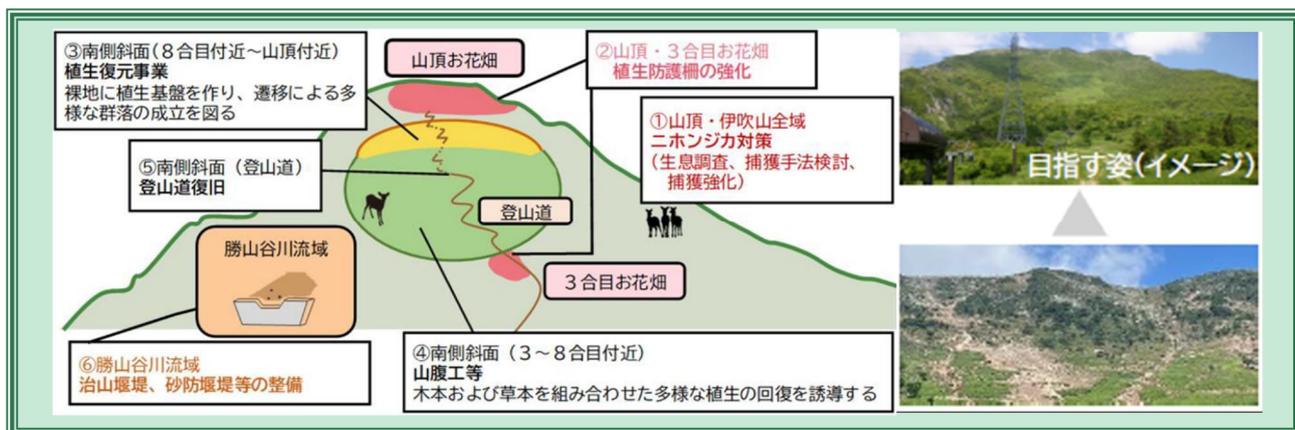
新 琵琶湖のレジャー利用に係る歳入確保

186千円

琵琶湖の持続的な活用のため、琵琶湖のレジャー利用者に協力金を呼び掛けるとともに、キャッシュレス決済サービスを活用し、琵琶湖のレジャー関連施設等において協力金を募る仕組みを構築する。

琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課 (内線 3485)

(2) 伊吹山の保全・再生



補助治山事業(伊吹山山腹工事)

150,000千円

荒廃溪流や山腹崩壊地について、国庫補助事業により、治山堰堤工事や山腹工事を実施する。

琵琶湖環境部 森林保全課 (内線 3932)

ニホンジカ対策事業

140,149千円

市町等が実施するニホンジカの捕獲事業に助成するとともに、捕獲条件が厳しい奥山等でニホンジカの調査や捕獲を行う。また、伊吹山では、ニホンジカの生息状況調査と捕獲を実施し、得られた知見に基づいて米原市および岐阜県等と成果を共有することで捕獲の効率化を図る。さらに、市の捕獲経費に対して支援を行い、捕獲をより一層強化する。

琵琶湖環境部 自然環境保全課 (内線 3489)

(3) 「世界湖沼の日」制定を契機とした湖沼環境保全の推進

「世界湖沼の日」制定を契機とした情報発信・連携推進事業

5,052千円

「世界湖沼の日」制定を契機とし、持続可能な湖沼管理の推進に向け、海外関係者等との交流イベントやワークショップの開催、第11回世界水フォーラムへの参画等を通じ、琵琶湖の保全再生の取組やMLGs等を国内外に発信するとともに、自治体・企業・団体等の連携を推進する。

琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課 (内線 3466)

事業内容

■「世界湖沼の日」制定を契機とした情報発信・連携推進事業



令和7年度のレガシー※を活用し、「世界湖沼の日」制定を契機とした情報発信・連携推進事業を実施

※関係者のつながり強化、琵琶湖の保全に係る発信コンテンツの作成等

企業や学生等を対象としたワークショップの開催

「世界湖沼の日」共創イベント

自治体連携

「みんなのBIWAKO会議」(8/27開催)とコラボし、海外関係者等との交流イベント開催

- ・全都道府県との共同メッセージ発信(8/27)等
- ・指定湖沼自治体や下流域自治体等との連携

第11回世界水フォーラム(サウジアラビア)への参加

びわ活重点期間

(「びわ湖の日7/1」~「世界湖沼の日8/27」)

マザーレイクゴールズ推進事業

7,870千円

琵琶湖版SDGsであるマザーレイクゴールズ(MLGs)を推進するため、「みんなのBIWAKO会議」やワークショップを開催するほか、ホームページやSNS等を活用した情報発信を行う。

また、令和8年度はMLGs策定後5年目であることから、目標年である令和12年に向けた取組の加速化を図るため、これまでの取組の中間評価を行う。

琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課 (内線 3460)

事業内容

■マザーレイクゴールズ推進事業

R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12(2030年)

MLGs策定 中間評価・加速化 ポストMLGs

令和8年度(2026年度)は、令和3年7月のMLGs策定から5年目の中間年

- 1 これまでの取組に係る振り返り(課題の整理等)
- 2 2030年に向けた取組の加速化



Mother Lake Goals

「びわ湖の日」活動推進事業

4,500 千円

(インバウンドを対象とした湖北で「びわ活」体験)

県北部地域にてインバウンド向けのモニターツアーを実施することで、湖北の観光事業者へインバウンドに対応する機会を提供するとともに、海外における湖北地域の認知度向上および湖北地域への来訪につなげる。

これらにより、海外における琵琶湖や滋賀県の取組のプレゼンス向上や県北部地域の活性化を図る。

琵琶湖環境部 環境政策課 (内線 3453)

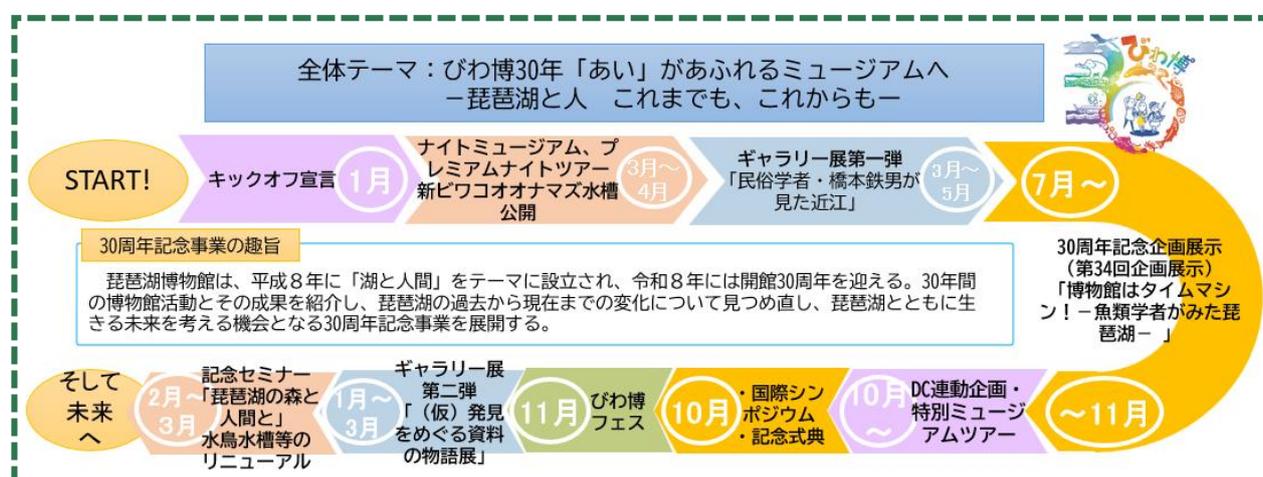
湖沼・水問題の解決に向けた国際協力と情報発信

2,905 千円

県内企業の新規ビジネス展開および滋賀県の汚水処理技術の継承・発展を行うべく、閉鎖性水域の水環境問題を抱える海外地域を対象に現地調査と協議を行う。また、世界水フォーラムにおいて、琵琶湖の環境保全を通じて培った技術の発信等を行う。

琵琶湖環境部 下水道課 (内線 4213)

(4) 琵琶湖博物館の魅力向上



新 開館 30 周年記念国際シンポジウムおよび企画展示の開催 (国際シンポジウム) 6,743 千円

琵琶湖博物館開館 30 周年企画展示「博物館はタイムマシン!—魚類学者がみた琵琶湖—」と連動し、200 年前の自然史標本(シーボルトコレクション:オランダ等の海外の標本の里帰り展示)の研究から読み解く琵琶湖の生物相や系統進化、当時の環境と人々の暮らしを考えることで、現在、未来の琵琶湖を考える国際シンポジウム「(仮)シーボルト江戸参府 200 周年記念 水辺環境の未来のために「記録」を残す」を開催する。

琵琶湖環境部 琵琶湖博物館 (077-568-4811)

開館 30 周年記念国際シンポジウムおよび企画展示の開催(企画展示) 16,383 千円

博物館の重要な目的である貴重な資料を将来にわたり保管すること、また、その活用を促し、県民への理解を深めることが必要であることから、開館 30 周年を契機に特別な企画展示を開催する。

約 200 年前の琵琶湖地域の標本が海外博物館等に所蔵されていることから、その貸し出しを依頼し、過去、現在、未来へとつながる企画展示を開催し、琵琶湖博物館および琵琶湖地域の将来を考える機会とする。

琵琶湖環境部 琵琶湖博物館 (077-568-4811)

新 特別ミュージアムツアー造成事業 12,000 千円

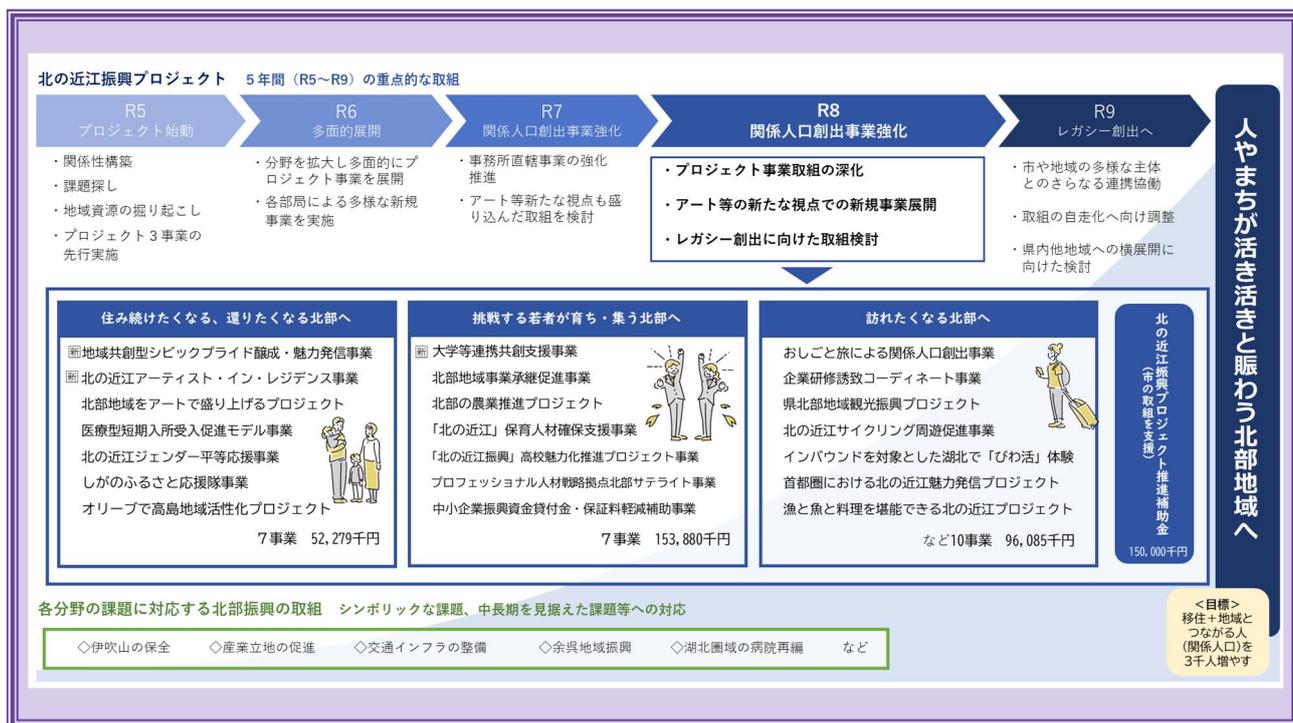
令和8年秋から 3 か年にわたり実施される滋賀デスティネーションキャンペーン推進事業と連動した企画として、学芸員特別解説ツアー等を実施し、新たな観光コンテンツを造成する。

琵琶湖環境部 琵琶湖博物館 (077-568-4811)

集中的な取組(県北部地域の振興)

【予算額 297.8億円】

令和5年度から5年間を重点取組期間として、北部地域の資源や特性を活かした振興策「北の近江振興プロジェクト」を実施。プロジェクト後半期に入る令和8年度は、取組を深化させるとともに、アート等の視点を盛り込んだ新規事業を展開し、未来につながるレガシー創出に向けて、市や地域の多様な主体と連携しながら県北部地域の振興に取り組む。



1 北の近江振興プロジェクト

新 地域共創型シビックプライド醸成・魅力発信事業

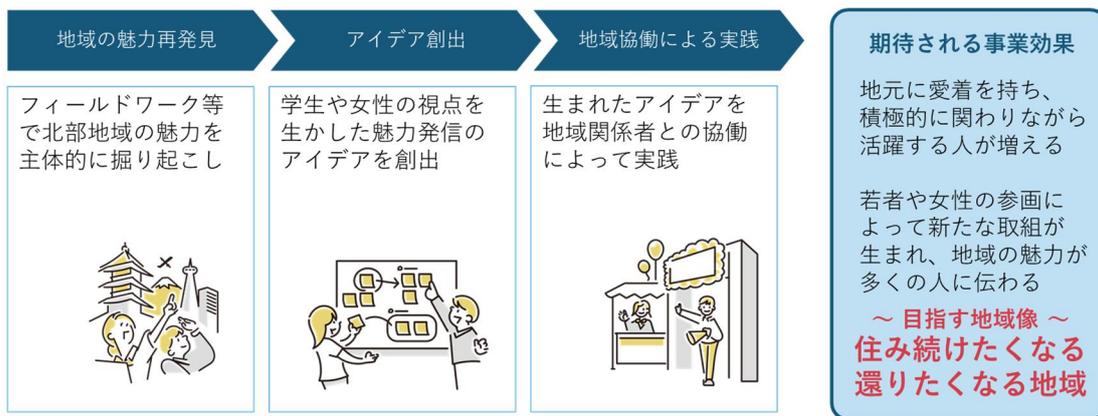
6,500千円

若者など多様な主体による地域の魅力再発見、それを生かした企画アイデアの創出、協働による実践までの一連のプロセスを伴走支援することで、地域への誇りと愛着を育むとともに、新たな魅力発信に係る取組創出につなげる。

総合企画部 新駅問題対策・特定プロジェクト推進室 北の近江振興事務所 (0749-53-2801)

事業内容

■地域共創型シビックプライド醸成・魅力発信事業



新 北の近江アーティスト・イン・レジデンス事業

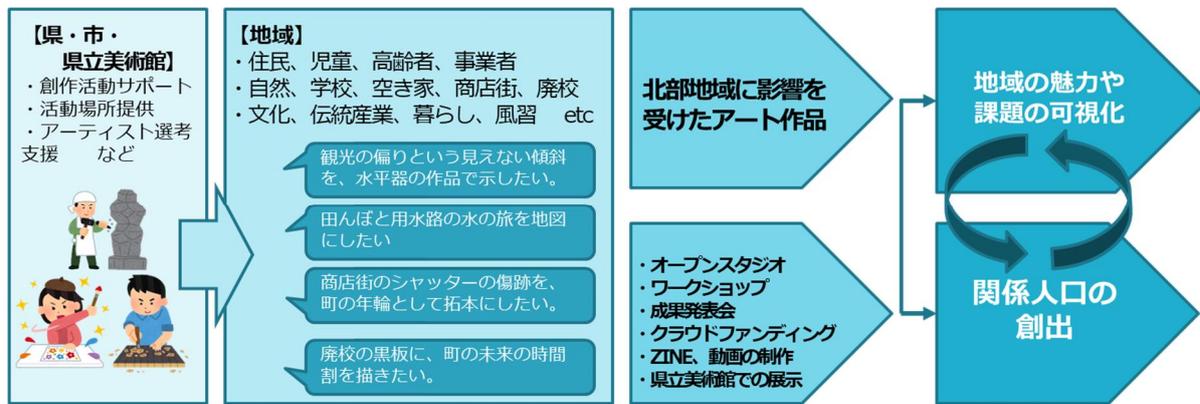
8,000 千円

公募により選定したアーティストが県北部地域に滞在し、住民や来訪者と交流しながら行う作品制作や発表など創作活動を支援することで、地域の魅力や課題をアートで可視化し、地域のにぎわいや関係人口の創出につなげる。

総合企画部 新駅問題対策・特定プロジェクト推進室 北の近江振興事務所 (0749-53-2801)

事業内容

■北の近江アーティスト・イン・レジデンス事業



地域資源活用交流創出事業(再掲)

11,414 千円

(北部地域をアートで盛り上げるプロジェクト)

文化を活用した地域交流創出事業補助金:2,000 千円

地域に根差した文化やアートを活用した取組をつなげ、分野や地域を超えた交流を生み出すため、新たな仕組みの構築や北部地域の振興につながる取組等を実施する団体を支援する。

文化スポーツ部 文化芸術振興課 (077-543-2111)

美術館魅力向上・整備推進事業(再掲) 69,590千円**(北部地域をアートで盛り上げるプロジェクト)**北の近江現代アーティスト展示:7,056千円

北部地域において、市や地域の団体等との連携のもと、第一線で活躍する現代アーティストによる展示やワークショップなどを開催することで北部の魅力発信や誘客につなげる。

文化スポーツ部 美術館 (077-543-2111)

医療型短期入所受入促進モデル事業(再掲) 15,360千円

湖北・高島圏域をモデル圏域として、病院等が医療型短期入所として医療的ケア児・者を受け入れるために必要となる体制整備経費の一部を補助することで、身近な地域で医療型短期入所サービスを利用できるよう、地域資源を拡充する。

健康医療福祉部 障害福祉課 (内線 3542)

北の近江ジェンダー平等応援事業 3,823千円

県北部地域の女性の新規就労や継続就労、正規雇用を後押しできる事業を実施し、県北部地域の人材確保につなげる。

商工観光労働部 女性活躍推進課 (内線 3701)

しがのふるさと応援隊事業 7,000千円

農山村地域への移住願望の高まりやリモートワーク等の普及を受けて、都市部の学生や社会人を対象に、地域交流や農作業、農村生活体験等、地域の協力のもと多様な農山村体験プログラムを県北部3市において実施することにより、関係人口の創出や二拠点居住・移住・定住を図り、北部振興につなげる。

農政水産部 農村振興課 (内線 3960)

オリーブで高島地域活性化プロジェクト 5,500千円

高島市の農業に魅力を感じ、農業の支え手となる関係人口の増加を図るため、農業と観光と商工関係者を繋ぎ、「高島オリーブ」の特産化およびオリーブをきっかけに果樹園に人を呼び込む仕組みづくりを行う。

農政水産部 미래の農業振興課 (内線 3847)

高等教育機関地域連携推進事業(再掲) 28,534千円大学等連携共創支援事業:1,200千円

大学生に北部地域への愛着や理解を深めてもらうため、北部地域や北部企業と連携した大学生等の視点を取り入れた地域課題解決の活動に県が県内の大学に対して支援する。

総合企画部 大学連携推進室 (内線 3308)

北部地域事業承継促進事業(再掲) 15,726千円

特任相談員を北部地域の商工会および商工会議所に設置し、事業承継ニーズの発掘や後継者を対象としたセミナーの開催等により、北部地域の事業承継を促進する。

商工観光労働部 中小企業支援課 (内線 3733)

北部の農業推進プロジェクト 11,000千円

湖北地域で新規就農者の増加を図るため、農地集約やスマート農業技術の活用等を行う生産効率の高い土地利用型モデル育成や、イチゴの市場出荷型産地形成等を支援する。

農政水産部 미래の農業振興課 (内線 3847)

「北の近江」保育人材確保支援事業 2,398千円

県北部地域を担当する「滋賀県保育士・保育所センター北部センター」を設置し、「北の近江」再就職支援コーディネータを配置する。コーディネータの活動を通じ、県北部地域の人材バンク登録者を増やし、求人者と求職者のきめ細かなマッチングを行うことで、潜在保育士等の再就職につなげる。

子ども若者部 子育て支援課 (内線 3557)

「北の近江振興」高校魅力化推進プロジェクト事業(再掲) 18,720千円

北部地域の高等学校で学ぶ生徒が、地域に目を向けた探究的な学びを通じて北部振興について考え、発信するとともに、地域で活躍し、地域振興に寄与する人材の育成を図る。

教育委員会事務局 高校教育課 (内線 4578)

プロフェッショナル人材戦略拠点北部サテライト事業(再掲) 4,526千円

「滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点北部サテライト」を設置し、県北部地域の中小企業等の人材確保および経営基盤の強化を重点的に支援する。

商工観光労働部 労働雇用政策課 (内線 3767)

中小企業振興資金貸付金(再掲) 26,508,000千円

開業資金(北部振興枠):98,000千円

中小企業者等の生産性の向上と事業活動の活発化を図り、もって経営基盤の強化とその振興発展に資することを目的として、経営の安定と体質改善に必要な資金の貸付けを行う。

商工観光労働部 中小企業支援課 (内線 3732)

中小企業振興資金保証料軽減補助事業(再掲) 114,770千円

開業資金(北部振興枠):2,310千円

中小企業者等の信用保証料負担の軽減を図るため、滋賀県信用保証協会に対し信用保証料軽減に係る補助金を交付する。

商工観光労働部 中小企業支援課 (内線 3732)

おしごと旅による関係人口創出事業 **2,000千円**

人手不足に課題を抱える事業者と旅をしながら働きたい人をWEB上でマッチングさせる民間プラットフォームの活用を促すための事業者支援を行い、地域外から人を呼び込むことで「人手不足解消」と「関係人口創出」を図る。

総合企画部 新駅問題対策・特定プロジェクト推進室 北の近江振興事務所 (0749-53-2801)

企業研修誘致コーディネート事業 **12,790千円**

県北部地域ならではの企業研修コンテンツを磨き上げ、企業研修誘致活動を行うことで、「企業研修の受け入れが盛んな県北部地域」というブランディングの醸成を図る。

総合企画部 新駅問題対策・特定プロジェクト推進室 北の近江振興事務所 (0749-53-2801)

県北部地域観光PR事業(再掲) **10,000千円****(県北部地域観光振興プロジェクト)**

県北部地域に所在する日本遺産の構成文化財を、周辺の自然・食・文化資源などの魅力と一体的に発信するとともに、県北部地域を中心とした本県特産品の認知度向上や販売拡大を図るため、中京圏および北陸圏等でのPRや、各圏域と連携した物産展への出展等に取り組む。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3743)

ビワイチ観光推進事業(再掲) **51,192千円****北の近江サイクリング周遊促進事業:2,118千円**

ビワイチの魅力を国内外に発信するとともに、子どものビワイチ体験の促進、レンタサイクルの利便性向上によりビワイチの体験者層の拡大を図り、本県の観光振興および活力ある地域づくりを進める。

商工観光労働部 観光振興局 (内線 3746)

「びわ湖の日」活動推進事業 **4,500千円****③インバウンドを対象とした湖北で「びわ活」体験(再掲)**

県北部地域にてインバウンド向けのモニターツアーを実施することで、湖北の観光事業者へインバウンドに対応する機会を提供するとともに、海外における湖北地域の認知度向上および湖北地域への来訪につなげる。

これらにより、海外における琵琶湖や滋賀県の取組のプレゼンス向上や県北部地域の活性化を図る。

琵琶湖環境部 環境政策課 (内線 3453)

ここ滋賀推進事業(再掲) **220,780千円****(首都圏における北の近江魅力発信プロジェクト)****「ここ滋賀」北の近江魅力発信事業:19,320千円**

東京・日本橋の情報発信拠点「ここ滋賀」において滋賀の観光資源や名産品の魅力を発信し、誘客、移住等の促進を図るとともに、意欲的な県内事業者等への支援を通じて首都圏での販路拡大を図る。

商工観光労働部 ここ滋賀 (03-6225-2951)

漁と魚と料理を堪能できる北の近江プロジェクト(再掲) 11,000千円

県北部地域の活性化を図るため、北の近江地域の水産業に携わる担い手が学生や地元事業者等との連携のもとに行う、域外の観光客等を対象とした湖魚食文化を堪能できる催事等の取組を促進する。

農政水産部 水産課 (内線 3873)

北の近江振興事業費(北の近江振興プロジェクト推進補助金) 150,000千円

北部3市が実施する、北の近江振興プロジェクトに寄与する取組に対し補助金を交付する。

総務部 市町振興課 (内線 3230)

2 各分野の課題に対応する北部振興の取組

ニホンジカ対策事業(再掲) 140,149千円

市町等が実施するニホンジカの捕獲事業に助成するとともに、捕獲条件が厳しい奥山等でニホンジカの調査や捕獲を行う。また、伊吹山では、ニホンジカの生息状況調査と捕獲を実施し、得られた知見に基づいて米原市および岐阜県等と成果を共有することで捕獲の効率化を図る。さらに、市の捕獲経費に対して支援を行い、捕獲をより一層強化する。

琵琶湖環境部 自然環境保全課 (内線 3489)

産業用地開発事業(再掲) 474,100千円

用地を求める企業のニーズに応えるべく、昨年度選定した県内3つの候補地において、市と連携しながら、基本設計、測量調査、環境影響評価等を行い、産業用地の整備を進める。

商工観光労働部 産業立地課 (内線 3781)

企業立地推進事業(産業立地戦略推進助成金)(再掲) 50,000千円

県経済を持続的に成長させるため、滋賀県産業立地戦略において今後更なる成長が期待できるとした産業分野における新規立地や増設に対し支援する。

商工観光労働部 産業立地課 (内線 3792)

新 人材循環で拓く持続可能な地域創造事業(再掲) 28,206千円

人口減少に対応した人材の循環を軸とした持続可能な地域社会を創造するため、本県への人材循環を促進する拠点の運営や、二地域居住者、副業・兼業、プロボノ人材などの多様な主体の活躍を支える仕組みの構築等に取り組む。

総務部 市町振興課 (内線 3230)

近江文化発見・発信事業(再掲) 3,400千円

県民が滋賀の歴史・風土・文化・自然等の魅力を改めて認識し、地域への愛着を深めるとともに、その魅力を発信するため、滋賀にゆかりのある文学作品の朗読会等を行う。

文化スポーツ部 文化芸術振興課 (内線 3345)

新 しがアートフェス・キッズミュージアム事業(再掲) 5,723千円

多様な主体や世代の文化交流を促進するため、県内美術館・博物館等が連携し、県北部地域において、親子で楽しめる文化芸術体験や県内文化団体等による発表の場を提供する。

文化スポーツ部 文化芸術振興課 (内線 3345)

森林環境学習事業(再掲) 134,546千円

小学校4年生を対象とした森林環境学習「やまのこ」や森林等の自然を活かした自然保育等を推進する。

琵琶湖環境部 森林政策課 (内線 3916)

「やまの健康」実践事業費(再掲) 9,430千円

「琵琶湖企業の森コンソーシアム」の仕組みを活用し、より多くの企業等に対して「やま」との様々な関わり方を提案・情報発信することで、都市とやまをつなぎ、人や経済の循環を創出する「やまの健康」の実現を目指す。

琵琶湖環境部 森林政策課 (内線 3918)

補助造林事業(再掲) 820,500千円

森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ森林整備を計画的に推進するとともに、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、もって森林環境の保全に資する。

琵琶湖環境部 森林保全課 (内線 3935)

衛星画像による森林管理推進事業(再掲) 7,600千円

県全域の衛星画像が搭載されるシステムを活用し、山地災害等の森林の変化をモニタリングするとともに、森林病虫害等の被害をAIで解析することにより効果的・効率的な森林管理を行う。

琵琶湖環境部 森林政策課 (内線 3927)

新 醒井養鱒場 150 周年記念催事推進事業(再掲) 5,395 千円

令和 10 年に迎える 150 周年を契機として、醒井養鱒場の魅力発信と将来への機能の継続を図るため、魚とのふれあいを通じた学びや体験ができる機能と魅力の向上を図る。

農政水産部 水産課 (内線 3873)

THE シガパークビジョン策定(再掲) 22,600 千円

THE シガパークの「将来あるべき姿」や「基本理念」などを総括する「THE シガパークビジョン」ならびに琵琶湖の湖辺域を一体的に捉えた、各湖岸公園の整備・運営方針「湖岸公園全体計画」を策定する。

土木交通部 都市計画課 (内線 4182)

THE シガパーク魅力発信推進事業(再掲) 17,864 千円

THE シガパークにおける SNS 等を通じた情報発信やイベント開催等を行うことで、魅力の向上を図る。

土木交通部 都市計画課 (内線 4182)

THE シガパーク快適性向上事業(再掲) 19,470 千円

通信事業者が保有する携帯電話の位置情報や駐車場ライブカメラにより取得する 24 時間の駐車情報を活用し、利用動向の把握・分析を行う。

土木交通部 都市計画課 (内線 4182)

補助都市公園事業(再掲)、単独都市公園事業(再掲) 647,983 千円

安全で住みよいまちづくりを推進するため、都市公園の整備を進め、県民のゆとりある快適な暮らしの確保を図る。

土木交通部 都市計画課 (内線 4182)

CO₂ネットゼロ住宅ストック形成事業費(再掲) 94,109 千円

CO₂ネットゼロ社会の実現や優良な住宅ストックの形成に向け新築住宅のZEH化を促進する。

土木交通部 住宅課 (内線 4235)